

イベント開催制限の段階的緩和の目安（1）

- 「**新しい生活様式**」に基づく行動。手指消毒やマスク着用、発熱等の症状がある者は外出等を避けるなど、**基本的な感染防止策**の徹底・継続。イベント主催者や出演者は「**業種別ガイドライン**」等に基づく行動、参加者の連絡先把握、接触確認アプリの周知、イベント前後の感染対策（行動管理含む）の呼びかけ。
- **イベントの開催制限**については、**当面9月末まで、現在の収容率要件及び人数上限を維持することとし**、その間においても収束傾向が見られた場合には目安のあり方を検討。
- **各都道府県においては**、引き続き、ガイドラインの徹底を呼びかけるとともに、地域の感染状況の段階に応じて、個別のイベントの開催について**適切に判断**。

<基本的な考え方>

時期		収容率	人数上限
5月27日～	屋内	50%以内	100人
	屋外	十分な間隔 ※できれば2m	200人
6月19日～	屋内	50%以内	1000人
	屋外	十分な間隔 ※できれば2m	1000人
7月10日～	屋内	50%以内	5000人
	屋外	十分な間隔 ※できれば2m	5000人
感染状況を見つつ、 当面9月末まで維持	屋内	50%以内	5000人
	屋外	十分な間隔 ※できれば2m	5000人

（注）収容率と人数上限でどちらか小さい方を限度（両方の条件を満たす必要）。

イベント開催制限の段階的緩和の目安（2）

○ イベント主催者は、特に、**全国的な移動を伴うものには格段の注意**。イベント参加者は、自身が感染対策を徹底していても、感染リスクはあることに留意。また、**発熱等の症状がある者はイベントに参加しない**（無症状で感染させる可能性も）。

<具体的な当てはめ>

時期	コンサート等	展示会等	プロスポーツ（全国的移動を伴うもの）
5月27日～	○ 【100人又は50%（注） （屋外200人）】 ※密閉空間で大声を発するもの、人との間隔を十分確保できないもの等は慎重な対応、管楽器にも注意	○ 【100人又は50%】 ※入場制限等により、人との間隔を十分確保できないもの等は慎重な対応	×
6月19日～	○ 【1000人又は50%】 ※密閉空間で大声を発するもの、人との間隔を十分確保できないもの等は慎重な対応、管楽器にも注意	○ 【1000人又は50%】 ※入場制限等により、人との間隔を十分確保できないもの等は慎重な対応	○ 【無観客】（ネット中継等） ※無観客でも感染対策徹底、主催者による試合中・前後における選手等の行動管理
7月10日～	○ 【5000人又は50%】 ※密閉空間で大声を発するもの等は、厳格なガイドラインによる対応	○ 【5000人又は50%】 ※入場制限等により、人との間隔を十分確保できないもの等は慎重な対応	○ 【5000人又は50%】 ※感染対策徹底、主催者による試合中・前後における選手・観客等の行動管理
感染状況見つつ、 当面9月末まで維持	○ 【5000人又は50%】 ※密閉空間で大声を発するもの等は、厳格なガイドラインによる対応	○ 【5000人又は50%】 ※入場制限等により、人との間隔を十分確保できないもの等は慎重な対応	○ 【5000人又は50%】 ※感染対策徹底、主催者による試合中・前後における選手・観客等の行動管理

（注）どちらか小さい方を限度。他の場合も同様。

イベント開催制限の段階的緩和の目安（3）

- イベント主催者は、特に、**全国的な移動を伴うものには格段の注意**。イベント参加者は、自身が感染対策を徹底していても、感染リスクはあることに留意。また、**発熱等の症状がある者はイベントに参加しない**（無症状で感染させる可能性も）。

<具体的な当てはめ>

時期	お祭り・野外フェス等	
	全国的・広域的	地域の行事
5月27日～	×	△ 【100人又は50% （屋外200人）】 ※特定の地域からの来場を見込み、 人数を管理できるものは可
6月19日～		○ ※特定の地域からの来場を見込み、 人数を管理できるものは可
7月10日～		
感染状況を見つつ、 当面9月末まで維持	×	